

## 南信州広域連合議会 全員協議会

日 時	平成29年5月26日（金）	午前11時00分～午後11時58分
場 所	飯田広域消防本部 3階会議室	
出席者	熊谷（英）議員、下平議員、川野議員、森谷（博）議員、小澤議員、丸本議員、板倉議員、松村議員、村松（積）議員、原議員、川上議員、高坂議員、熊谷（義）議員、勝野議員、栗生議員、福沢議員、宮下議員、本島議員、坂本議員、熊谷（宗）議員、森谷（岩）議員、熊谷（泰）議員、湯澤議員、永井議員、福沢（清）議員、木下（容）議員、湊議員、新井議員、清水議員、吉川議員、木下（克）議員、村松（ま）議員、井坪議員	
説明員	13市町村長、佐藤副管理者、高田事務局長、塚平事務局次長、関島消防長、松川消防次長兼警防課長、有賀総務課長、山口予防課長、木下警防課専門幹、細田飯田消防署長、大蔵伊賀良消防署長、高橋高森消防署長、下平阿南消防署長、田見飯田環境センター事務長	
事務局	加藤書記長、林事務局庶務係、秦野次長補佐兼広域振興係長、秋山介護保険係長、北原事務長補佐兼庶務係長兼新焼却場施設整備専門主査、窪田飯田環境センター管理係長、市瀬竜水園場長、原稲葉クリーンセンター管理担当専門技査、牛久保下伊那郡町村会事務局長	

1. 開 会
2. 議長あいさつ
3. 広域連合長あいさつ
4. 報告・協議事項

No	項 目 名	資料	頁
1	各検討委員会の委員の指名について …資料による説明（加藤書記長）	1	3
2	リニア中央新幹線について …資料による説明（高田事務局長）	2	4
3	産業振興と人材育成の拠点整備について …資料による説明（高田事務局長）	3	7

No	項目名	資料	頁
4	看護師等確保対策修学資金の応募状況について …資料による説明（高田事務局長）	4	10
5	飯田環境センターから …資料による説明（田見飯田環境センター事務長）	5	11
6	飯田広域消防から …資料による説明（関島消防長）	6	13
7	広域連合議会新人議員等研修会について …資料による説明（塚平事務局次長）	7	16
8	南信州地域戦略会議（5/15）について …資料による説明（高田事務局長）	8	18
9	県議会現地調査について …資料による説明（塚平事務局次長）	9	19
10	その他 …資料による説明（塚平事務局次長）	10	21
11	当面の日程 8月9日（水） 稲葉クリーンセンター火入式 午前10時から 8月18日（金）、21日（月）、22日（火） 各検討委員会 8月31日（木） 南信州広域連合議会全員協議会 …資料による説明（塚平事務局次長）		23

## 5. 閉 会

## 1. 開 会

午前 11 時 00 分

(清水議長) それでは、ただ今から全員協議会を開催いたします。

まず会議に先立ちまして、理事者側から広域連合長、副広域連合長ほか、関係市町村の皆様については別の会合に出席するため、午後 1 時半を過ぎましたら退席をしたい旨の申し出がありましたので、これを許可いたしましたのでご報告をさせていただきます。

## 2. 議長あいさつ

(清水議長) それでは、議長あいさつとあります。議会に引き続きでありますので省略させていただきます。

## 3. 広域連合長あいさつ

(清水議長) 広域連合長あいさつにつきましても省略をさせていただきます。

## 4. 報告・協議事項

(清水議長) 次に、協議報告事項に入ります。

### (1) 各検討委員会の委員の指名について

(清水議長) 始めに、各検討委員会の委員の指名を議題といたします。

本会議で申し上げたとおり、南信州広域連合議会の変更がありましたので、その氏名を書記長をして報告いたさせます。

加藤書記長。

(加藤書記長) 報告をさせていただきます。

資料ナンバー 1 をご覧ください。

総務・文教・消防検討委員、7 番・板倉幸正議員、14 番・勝野猶美議員、26 番・木下容子議員、27 番・湊 猛議員、31 番・木下克志議員、33 番・井坪 隆議員。

環境・福祉・医療検討委員、6 番・丸本 清議員、10 番・原 光史議員、24 番・永井一英議員、25 番・福沢 清議員、28 番・新井信一郎議員、30 番・吉川秋利議員。

建設・産業・経済検討委員、1 番・熊谷英俊議員、15 番・栗生勝由議員、22 番・熊谷泰人議員、23 番・湯澤啓次議員、32 番・村松まり子議員。

以上でございます。

(清水議長) ただいま報告がありましたとおりにご指名いたしました。

全員協議会終了後、各検討委員会の委員長選出のため各検討委員会の開催をお願いいたします。

委員長互選の結果は、後日、事務局をして報告いたさせます。

---

## (2) リニア中央新幹線について

(清水議長) 次に、リニア中央新幹線についてを議題といたします。

理事者側の説明を求めます。

高田事務局長。

(高田事務局長) それでは、資料ナンバー 2-1、2-2、2-3 とございます。ご説明をさせていただきますのでよろしくお願いをいたします。

始めに、資料ナンバー 2-1 でございますが、これは裏面を見ていただきますと平成 29 年 4 月 28 日付になっております。JR 東海社長あてに要望書を提出をしました。南信州広域連合、飯田商工会議所、商工連南信州支部ということで 3 者連名で要望書を提出したものでございます。

裏面をご覧をいただきまして、内容的には一番最後の 4 行であります。工事団体から地域全体でリニアがもたらす経済効果が実感できるよう、事業実施にあたりましては工事関係者はもとより、必要な資機材、生活必需品の購入から宿泊など、地元業者の活用につつまして格別なるご高配を賜りますようにということで、ぜひ今の段階から地域の物を使って、しっかりと地域の経済効果が実感できるようなことを取り組んでほしいということで、広域連合長、それから飯田商工会と、それから商工連南信州支部長の 3 者が 4 月 28 日に JR 東海へ出向きまして要望活動をしたものでございます。

相手方は、JR 東海の中央新幹線推進本部名古屋建設部の松野部長、それから澤田担当部長のお 2 人が出席をされまして、この要望活動をさせていただいておりますのでご報告をさせていただきます。

続きまして、資料ナンバー 2-2 でございます。

リニア駅周辺整備基本計画の概要版ということで、先ほど連合長あいさつの中にもございましたが、リニア駅周辺整備につつまして飯田市のほうで検討会議等で検討がされてこられまして、この 4 月にパブリックコメントに付したときの資料でございます。

このリニア駅周辺の整備につつましては、この 1 ページを見ていただきますと中ほど

にリニア駅周辺整備基本構想ということで、これが26年に発表になっておりますけれど、「信州・伊那谷（ローカル）の個性で（グローバル）世界を惹きつけ、世界へ発信するゲートウェイ」という、こうしたタイトルで基本構想が発表になっているわけですが、これをより具体化をし、基本計画それから次の基本設計へとだんだん進んでいくわけですが、この基本計画の概要について発表になったものでございます。

下のほうを見ていただきますと、整備コンセプトということで4つの点に整理をされています。「機能的でコンパクトな駅空間」、2として「信州・伊那谷らしさを感じられる駅空間」、3として「自然との調和を目指した駅空間」、4として「地域と一体化した駅空間」ということで、この4点にコンセプトを整理をされております。

で、その下に留意する項目として、この地域の特色が掲げられているということ。それから何を目指すかということが書かれています。

中を見ていただきます。ここに見開きで今申し上げた4つのコンセプトについて説明がございまして。特に広域連合としてこれからしっかりと検討していかなきゃいけないというのは、②番の「信州・伊那谷らしさを感じられる駅空間」というところにありますが、魅力発信施設、あるいは高架下空間ということで、これからどのような整備が進められるか設計に入っていくわけですが、各町村あるいは広域連合としてこうした魅力発信施設、あるいは高架下にどのような機能を持たせたいのか。

それから子どもが各地域の魅力を発信する、あるいは人を呼び込んでくるときにどのような機能が必要なのか、どんな設備が必要なのかということを広域連合としてもしっかりと検討をして、これからの設計にしっかりとご意見を申し上げて、一緒に取り組んでいくということが大事だろうというふうに思っています。

こうした点をこの基本計画を受けまして、私どもとしてこれから検討を進めてまいりたいと思っておりますので、議会側にも次回以降きちんとご説明をして、ご協議をさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いをいたします。

これが発表になった基本計画の案の状況でございます。これが資料ナンバー2-2でありまして、続きまして資料ナンバー2-3をご覧をいただきたいと思います。

4月以降、リニア中央新幹線に関連をして幾つかの会議が開催をされております。それを整理をして報告をさせていただくものであります。

1段目がJR東海幹部と関係市町村長の意見交換会ということで、4月19日の日に飯田合同庁舎で開催をされています。出席者は、JR東海側が推進本部の本部長ほか4名の方、それから県からリニア推進局、それから関係市町村長ということで、この広域

連合管内の市町村長プラス、中川村、南木曾町の長の方もご出席をされておられます。

で、この意見交換の項目としてそこに4点書いてありますが、JR東海の現地体制の強化・充実について、あるいは発生土の処理に関する生活環境への影響について、それから関係市町村との協定等の締結について、それから地域振興策へ観光はじめ、地域振興策への支援、協力についてという、この4点の項目を県のリニア推進局のほうで一応項目立てをして、これについて意見交換をされたということでございます。

で、近ごろ、この県のリニア推進局のほうで県のホームページにこの関係市町村とJR東海幹部の意見交換会の概要が載っておりますので、またそれをご覧いただければというふうに思っております。

それから2番目でございますが、地元選出県議会議員との懇談会ということで、5月15日の日に開催をされています。で、これはちょうどこの日が広域連合会議の日でございましたが、また地域戦略会議というものも県のほうの主催で行われておりました。ということで、この日に合わせて広域連合の市町村長と地元選出の県議の皆さんとの懇談ということで行ったものでございます。

で、内容的には3月に、後ほどその他のところ、10番のところ、項目でご報告をいたしますが、3月に県に対しましてリニアを活かしたこの地域の地域づくりの内容として、特にコンベンション施設、あるいは屋内体育施設について、これから検討していくんだということで、その状況を報告をし意見交換はさせていただいたものでございます。

で、その②のところ、県議会議員からのご意見ということで、それぞれの先生方からご意見をちょうだいいたしておりますけれども、この裏面をご覧いただきまして③のところにあります、広域連合長のほうで整理をいたしておりますのは、特に今回リニア駅の効果をしっかり活かしていくための施設整備について、より具体的に、よりスピード感を持ってというようなことをしっかりと指摘をいただきました。それを踏まえて今年度検討してまいりたいと思っておりますので、この点も検討の状況を改めて報告をさせていただきたいと思っております。

3番でございますが、リニアを活かした地域振興策に関わる知事と地元経済界の意見交換会ということで、これが5月17日の午後開かれています。これはオープンにされておまして、その次のところに別紙ということで名簿を付けておりますけれども、こうした皆さんがご出席をされまして、この伊那谷に人を呼び込んでくる、あるいは訪れたいくなるような魅力的な地域にしていくためにどのような機能が必要か、ぜひ経済界から

意見はということで意見交換会がされております。

それから4番目であります、リニアに関する市町村長の意見交換会ということで、同じく5月17日の夕方開催をされています。これは連合長のごあいさつにありましたが、長野県知事とJR東海のトップ会談がちょうど今日でありますけれども予定がされています。それを踏まえまして、地域として各町村長さん方が現状を説明をされ、知事とそれからJR東海とのトップ会談に向けての意見交換をしたということでございます。

この4月、5月の間にこのような会が開催をされまして、それぞれ意見交換がされておりますのでご報告をさせていただきました。

以上でございます。

(清水議長) 説明が終わりました。

ご質疑はございませんか。

(発言者なし)

(清水議長) なければ、説明のございましたリニア中央新幹線については、聞き置くことといたします。

---

### (3) 産業振興と人材育成の拠点整備について

(清水議長) 次に、産業振興と人材育成の拠点整備についてを議題といたします。

事務局の説明を求めます。

高田事務局長。

(高田事務局長) それでは、資料ナンバー3を見ていただきたいと思います。

資料ナンバー3となっておりますが、中身は3種類ございます。一番頭に「Take off」というふうに書いてあるものがありますが、これは4月の22日の日に信州大学の航空機システム共同研究講座の開講式がされました。そのときの信州大学のほうで用意をされた資料のコピーでございます。

これ開いて見ていただきますと、信州大学の航空機システム共同研究講座がどのような内容で進められるかということ、それからそこでどのような授業がされ、またどのような研究が進められるかということが書かれているものでございます。

現時点で信州大学がこの航空機システムの講座にどのように取り組んでいくかがわかる資料でございますので、また見ていただければというふうに思っております。

これが4枚ございまして、この4枚を開いて次のところでもありますけれども、産業振興と人材育成の拠点整備状況等の報告というペーパーがございます。

写真が付いたものでございまして、まず1番が講座が開設をされたというそのときの写真も含めて載っております。開講式の式典が4月22日の土曜日に開かれております。入学生の宣誓があり、それから教授等のスタッフの紹介と内容説明、内覧会もございました、看板も設置がされております。

それから、裏面を見ていただきますと長野県の工業技術総合センターのサテライトということで、C棟の3階に設置をされております、長野県の工業技術総合センターの航空機分野の分室といいますかということで、いま職員が1名常駐をしている状況でございます。

それから、その日の夕方第1期工事の工事完成祝賀会が開催をされております。

続きまして2期工事でございますが、2期工事はその次に図面が付いておりますけれども、旧飯田工業高校の体育館の改修でございます。上段が1階になっておりまして、建物の上下とはちょっと逆ですが、上段の1階部分は体育館の1階を使って、今の産業センターにあります測定部門が全部ここに移ってまいります。で、ここで測定器ですとか、それから実証試験ができるようなスペースも含めて整備をしております。

それから2階部分が下であります、ここは体育館のアリーナ部分ですけど、そこを改修をしてホールに改造するものでございまして、500人規模の収容ができるホールで展示会等もできるような形で整備をするというものでございます。

前のページにお戻りをいただいて、その事業費それから契約をした相手方も書いてございますけれども、29年の3月から30年、来年の2月末までの工期でこの工事を進めてまいります。

事業費につきましては8億円ということで、各市町村にお世話になって地方創生拠点整備交付金を共同で手を挙げていただいて、4億円の交付金とそれから地方債で事業を進めてまいります。

それから、資料ナンバー3の一番最後のペーパーであります、「信州大学航空機システム共同研究講座コンソーシアムによる講座支援の状況」というペーパーで、産業センターのほうで用意したペーパーでございますが、ここに整理をしてありますが、まず1番は講座の運営状況ということで、この講座4月に開講いたしましたが一応4年間を想定をしております、およそ1億1,000万余の経費を4年間で見込んでいるということで、その経費の財源としてコンソーシアム会員の寄附金負担金、それからさらに機能強化のため会員募集をしていくということでございます。

で、2番が学生支援・教育研究支援でございます。ここの中ではそのコンソーシア

ムでの検討内容ということで、ここでは学生に対して給付型の奨学金を想定をするということで、その奨学金、それから講座で実施をする教育研究費の支援をしていくということで、この財源については（２）番でありますけれども、企業等からの寄附金をこれから集めて、それを財源として実施をしていくということで、企業版ふるさと納税制度という制度ができておりますので、内閣府に手を挙げて、この趣旨に賛同いただける企業の皆さんから企業版のふるさと納税という形で各市町村に治めていただいて、それを財源としてこの学生支援をしていくというものでございます。

一番下に市町村へのお願いということでございますが、６月議会で補正予算の編成をお願いをするということになっております。企業からの寄附金とそれからコンソーシアムへの補助金という形での歳入歳出予算を、それぞれの市町村で６月議会で編成をする準備を進めておりますのでよろしくお願いをいたします。

以上、資料ナンバー３の産業振興と人材育成の拠点整備に関します状況についてご説明をさせていただきました。

ありがとうございました。

（清水議長） 説明が終わりました。

質疑はございませんか。よろしいですか。

湯澤啓次議員。

（湯澤議員） 大変お金がかかることと思いますが、ぜひ成功していただきたいと思います。

本当細かいことで恐縮なんですけどね、生徒２名、書いてありますけれども、私やっぱり学生と表記すべきではないかと思いますがいかがでしょうか。

（清水議長） 高田事務局長。

（高田事務局長） 産業センターが用意したペーパーでございますので何ともあれですが、学生が正しいかというふうに思います。

よろしくお願いをいたします。

（清水議長） よろしいですか。

他にございませんか。よろしいですか。

（発言者なし）

（清水議長） なければ、説明がございました産業振興と人材育成の拠点整備については、聞き置くことといたします。

#### (4) 看護師等確保対策修学資金の応募状況について

(清水議長) 次に、看護師等確保対策修学資金の応募状況についてを議題といたします。

事務局の説明を求めます。

高田事務局長。

(高田事務局長) それでは、資料ナンバー4をお願いいたします。

先ほど連合長のあいさつの中にもございましたが、南信州広域連合として看護師等確保対策の修学資金という制度を用意をいたしまして、5月の19日までということでこの修学資金の応募者、希望を募ってまいりました。

で、締め切りをしたところで今現在、応募者数が13人ということでございます。で、内訳といたしますと男性が6人女性が7人ということでございます。で、募集をしたときの要綱では5人ということで予算が5人の枠でしたので、希望を募ったわけでありましてけれども13人の応募があったということで、非常に関心も高くありがたいというふうに思っています。

この13人の内訳を幾つかの視点で見させていただきますが、貸与の枠として新たに入られた新生、あるいは2年生というような在校生というその整理をしますと、新生が10人、在校生が3人ということでありまして、この3人の内訳はそこにあるとおりでございます。

それから、卒業後の意思ということでございますが、この地域の中に就業するつもりだというのが10人、それからさらにその上の助産師を養成するためのところへさらに進学をするという希望が3人というそういう状況でございます。

それから、どの場所の養成施設に通っているかということでありますが、この地域にあります女子短大の看護学科が4人、それから県内に4人、それから県外が5人というそういう内訳になっております。県内はそこにあります4つの医療機関で修学をしているということでございます。

それから、父母の居住地ということで整理をいたしますと、飯田市が11人、喬木村が1人、それから上伊那が1人ということでありまして、この上伊那の方は親御さんは箕輪町で、この上田の看護専門学校に通っているというそういう形でございます。

こうした13人の今申し込みがあるというそういう状況でございます。

で、これを受けてどのように選考するかということでありますが、その次のペーパーを見ていただきたいと思いますと思っておりますが、広域連合会議のほうでこの奨学金貸与の施行規則を改正をさせていただいて、その裏面を見ていただきますと赤字のところがありま

すが、第10条で選考審査会を設置をするということを規則を改正をしてこの条項をつくっております。

で、この条項に基づきましてもう1枚見ていただきますが、南信州広域連合看護師等確保対策修学資金選考審査会要綱ということで、この要綱でもって審査会を5月15日付で設置をいたしました。今後はこの審査会をできるだけ早く開催をして、どういう基準でどのように選考するかを含めてしっかりと検討をしていただきたいというふうに思っています。

で、この審査会のメンバーでございますけれど、この要綱の第4条を見ていただきますが、広域連合会議の中の環境・福祉・医療専門部会の部長さん方4人、それから副管理者、事務局長、事務局次長、それからその他広域連合長が必要と認める者ということで、今は包括医療協議会の中に医師等確保対策専門委員会がございますので、その会長さん、委員長さんにぜひこの選考審査会に加わっていただきたいということでお願いをしております。

こうしたことで選考審査会をきちんとつくって選考審査をし、できるだけ早く、できれば6月中には審査を決定をして、貸与の具体的な貸与を始めていければというふうに思っておりますが、その選考審査をこれからしっかりやっていくということで状況の報告とさせていただきます。

よろしく願いいたします。

(清水議長) 説明が終わりました。

ご質疑はございませんか。よろしいですか。

(発言者なし)

(清水議長) なければ、説明がございました看護師等確保対策修学資金の応募状況については、聞き置くことといたします。

---

## (5) 飯田環境センターから

(清水議長) 次に、飯田環境センターからを議題といたします。

事務局の説明を求めます。

田見飯田環境センター事務長。

(田見事務長) それでは、環境センターからお願いをいたします。

資料5をご覧をいただきたいと思います。稲葉クリーンセンターの整備状況でございます。

稲葉クリーンセンターのハード整備につきましては、平成27年の5月より本格的な造成工事に着手いたしまして、今月でちょうど2年経ったところでございます。

本年12月1日の本稼働に支障を来たさないよう、現在、鋭意努力して整備を進めておるところでございます。

写真をご覧いただきたいと思いますが、これにつきましては5月上旬の状況でございます。今月末の出来高でございますけれども約85%を予定しておりまして、工事のほうは計画どおり順調に進んでおるところでございます。

写真1段目でございますけれども、これは工場棟・管理棟の上空からの写真でございます。現在このような整備状況でございます。2段目でございますけれども、これは工場棟・管理棟の近くから撮った写真でございます。

3段目以降でございますが、プラントの内部でございます。3段目の左側でございますが、これがプラットホームの状況でございます。投入扉が1・2・3ということで3枚、3口設置しております。ちょっと見にくくて恐縮でございますが、3の右側でございますが、ここにダンピングボックスといたしまして、直接搬入の方がこのボックスへごみを入れましてピットへ投入する口でございます。1の左側のほうに大きな畳、家具等が来た場合はここで破碎するというので破碎機を設置しております。

あとは工場棟の内部でございます。右側の一番下段でございますが、これがごみピットの状況でございます。ちょうど左側が先ほど説明いたしました内扉の裏側が見えているところでございまして、3分の1ほどで仕切の壁がございまして、左側のピットはこれは受け入れピットということでパッカー車等がここへ落とす、それをクレーンでつまみまして右側の貯蔵ピットへ移動いたしまして、そこで攪拌して炉のほうへ投入をしていくという状況でございます。

で、おめくりいただきまして、あと上段のほうはごみクレーン、ボイラー、あと屋根等でございます。2段目の右側でございますが、これは工場棟の煙突でございます。現在完成しております。今見えますのが外筒でございます。これは5メートル×4メートルほどの四角の箱でございますが、その中に内筒ということでステンレスの80センチほどの径の管が2本設置をしております。

3段目でございますが、これ管理棟の施工状況でございます。右側のほうが管理棟の2階の大会議室でございます。ここで視察等の受け入れを行ってまいるというところでございます。

あと最下段、計量棟でございますが、現在はもう足場も取れておりまして、外装、内

装の仕上げを行っておるところでございます。

続きまして3ページをお御覧をいただきたいと思いますが、3ページでございますがクリーンセンターについてということで今後の予定でございます。

内覧会のほうでございますが、これから今、内装等整備しておりまして、養生等を考慮いたしまして7月28日～30日、金・土・日でございますけれども3日間実施いたしまして、どなたでもお越しいただきたいということで、また別途周知をさせていただきたいと思っております。

あと、火入れ式のほうを8月9日、竣工式を12月1日に実施をしてみたいというふうに考えております。

ごみの受け入れでございますが、桐林では8月31日までで受け入れを終了いたしまして、9月1日から稲葉ですべてのごみを受け入れを開始いたします。

あと、視察対応のほうでございますけれども、本稼働前の視察が可能な期間といたしまして7月3日から8月4日の間を予定しております。ご要望があればこの間、施設等の視察を受け入れてまいりまして、燃焼試験が始まりますので、その燃焼試験の間中は視察ができませんのでよろしくお願いをいたします。

12月1日以降、本稼働以降でございますけれども、これは今までどおり対応をしてみたいです。内覧会につきましては、ご覧の状況でございますのでよろしくお願いをいたします。

以上でございます。

(清水議長) 説明が終わりました。

ご質疑はございませんか。

(発言者なし)

(清水議長) なければ、説明がございました飯田環境センターは、聞き置くことといたします。

---

## (6) 飯田広域消防から

(清水議長) 次に、飯田広域消防からを議題といたします。

事務局の説明を求めます。

関島消防長。

(関島消防長) それでは、飯田広域消防からご報告を申し上げます。資料が大変複雑になっておりまして申しわけございません。

始めに、3月5日に発生いたしました長野県消防防災ヘリコプター「アルプス」の墜落事故に関連いたしまして、事故後初めての議会全協でございますので報告をさせていただきます。

資料ナンバー6の別添2をご覧くださいと存じます。

事故の概要につきましては6でございますとおり、既に新聞等によりましてご承知と存じますので簡単に県の防災ヘリコプターの概要につきましてご説明をさせていただきます。

長野県の防災ヘリコプターの運航につきましては、平成9年4月、消防防災航空隊が発足いたしまして、同年9月に運行を開始いたしました。平成18年、組織体制によりまして消防防災航空センターが運行をいたしております。

運行にあたりましては、長野県消防防災ヘリコプター運航協議会が設けられまして、構成は県内全市町村で構成をされております。

運行にかかる経費につきましては、運行管理、会の活動に関する経費は県が、消防吏員の派遣に要する費用を県内全市町村が負担するとされております。市町村の負担割合は負担すべき経費の2分の1を人口規模、残り2分の1を基準財政需用額の割合とするとなっておりますところでございます。

事故時の組織体制におきましては、航空隊として操縦士3名、整備士3名、運行管理員1名、事務員1名、消防隊として県内13の各消防本部から派遣いたしております消防吏員8名の体制でございました。火災・救急・救助活動、地震・水害等の緊急要請に対しまして機動的に迅速な活動を展開していたところでございます。

長野県消防防災ヘリコプターは、操縦士・整備士を県職員として、先ほど申し上げました県内消防本部から派遣された職員の消防隊からなる組織でございます。

当県の消防防災ヘリコプターの活動につきましては、3,000メートル級の山岳における救助業務を抱えていることから、全国の消防防災ヘリコプターの運行の中でも操縦士の操縦技術は高度な飛行技術を必要とされ、消防隊員も高度な救助技術が求められ、厳しい訓練を重ねていたところでございます。

活動実績、管内における活動実績等につきましては、資料をご覧くださいと存じます。

県内各消防本部から派遣される消防隊員につきましては、県消防長会の申し合わせによりまして航空隊への派遣計画に基づき職員を派遣いたしております。

飯田広域消防では、過去に平成13年度から15年度までの3年間、24年度から2

6年度までの3年間職員を派遣いたしております、2名が航空隊経験者として活躍しているところでございます。

今回の事故をとらえまして、現在円滑に応援いただく他県防災ヘリ等の連絡調整には、消防防災航空センターの役割は欠かせないものという判断のもと、地域住民の皆様の安全を担う消防機関といたしましても、消防防災航空センターの業務継続につきましては重要と考えているところでございます。

そのような状況の中、県から飯田広域消防に対しまして27年3月まで派遣しておりました職員について、平成29年度4月からの1年間の派遣要請がございまして、職員とご家族の意向も確認をさせていただき、ご理解を得た上でこの4月から派遣をしているところでございます。

今後、県の消防防災航空センターの再構築につきましては、県内の各市町村の意見を踏まえ検討していくとしているところでございます。

以上、防災ヘリに関連して報告をさせていただきました。

続きまして、5月5日にございました南信濃の地籍でございました林野火災についてご報告を申し上げます。

発生日時につきましては、5月5日の消防覚知で16時26分となっております。鎮火日時は5月9日の13時30分となっております。これにつきましては資料ナンバーの6をご覧くださいと存じます。

活動によりまして、航空からの空中消火につきましては、計194回行っております。また、地上部隊の活動といたしましては、延べ586人を投入をして鎮火に至っております。

連合長のごあいさつにありましたとおり、飯田広域消防といたしましては今回の林野火災の対応につきまして検証を十分に行いまして、今後の災害対応に活かしてまいりたいと思っております。

引き続き予防広報を強化するとともに、災害状況と防災ヘリ要請など対応を的確に判断いたしまして、消防団をはじめ関係機関と連携いたしまして迅速に対応するとともに、他の災害につきましても職員一丸となって適切に対応してまいり所存でございます。引き続きご理解ご協力いただきますようお願いを申し上げます。

参考に別添として自衛隊のヘリ、また焼損の概要につきまして写真を添付させていただいておりますのでご覧をいただきたいと存じます。

続きまして、資料ナンバー6-2でございますが、平成29年の火災の発生状況、ま

た28年との比較でございます。

火災につきましては2件のプラスの状況となっております。また、関係機関の皆さまにご尽力いただきました、たき火等の火災の防止につきましてはマイナス6件という状況でございます。現在、建物火災が17件、林野火災が2件、車両火災が2件、その他火災が27件という状況でございます。引き続き火災予防につきまして、機会をとらえまして広報活動に努めてまいりたいと思っておりますのでございます。

続きまして、資料ナンバー6-3をご覧くださいと存じます。

5月1日から5月25日までの間におきます熱中症疑いによる救急搬送の状況でございます。この期間の昨年は搬送人員は5人でありまして、昨年の同時期と比べてマイナス1名となっているところでございます。おかげさまをもちまして傷病程度につきましては軽傷ということでございます。

これから増加が危惧されている熱中症でございますが、あらゆる機会をとらえて予防救急に努めてまいりたいと思っておりますので、それぞれのお立場でまたご理解ご協力いただければと存じますのでよろしくお願いいたします。

以上、雑ぱくでございますが、飯田広域消防から報告につきましてご報告をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

(清水議長) 説明が終わりました。

ご質疑はございませんか。

(発言者なし)

(清水議長) なければ、説明がございました飯田広域消防からは、聞き置くことといたします。

---

## (7) 広域連合議会新人議員等研修会について

(清水議長) 次に、広域連合議会新人議員等研修会についてを議題といたします。

事務局の説明を求めます。

塚平事務局次長。

(塚平事務局次長) それでは、私のほうから平成29年5月19日に開催をいたしました南信州広域連合議会新人議員等研修会につきましてご報告申し上げます。

資料ナンバーの7をご覧くださいと思います。

この研修会につきましては、昨年から今年にかけて新たに広域連合議会の議員となられた皆様を中心としてお声がけをし開催をしたものでございます。

当日は6名の新人議員の皆様にご出席をいただき、本日お配りの内容についてご説明を申し上げたところでございます。

若干、概要を申し上げます。学習会の中では、基本構想・基本計画の冊子を用いまして広域連合の歴史、それまでの経過、さらには例規、基幹事務事業といったものの説明のほか、私どもの業務の基本となっております基本構想・基本計画について、その概要の説明をさせていただきました。

また、環境センター及び広域消防本部からそれぞれの組織の概要、それから現在の活動状況、さらに当面する課題についてのご説明をいただいたところでございます。

併せて、今年度の南信州広域連合予算の概要についてご説明を申し上げました。また、その他の中で当面の課題といたしまして先ほども説明をさせていただきましたが、産業振興と人材育成の拠点整備構想のこれまでの経過、事業概要について説明をさせていただいたところでございます。

また、議会におきまして広域連合長よりあいさつで申し上げましたけれども、南信州在宅医療・介護連携推進協議会の昨年度、それからそれ以前の経過を踏まえるとともに、今年度どういった状況で活動をしていくかといったような部分について説明をさせていただいたところであります。

当日の資料等、まだ残部が残っております。もし必要な方がおいでになりましたら事務局に言っていただけましたら資料をお配りいたしますので、またご連絡をいただきたいと思っております。

説明は以上でございます。

(清水議長) 説明が終わりました。

ご質疑はございませんか。

板倉幸正議員。

(板倉議員) この新人議員の研修につきましてですが、この日に県の関係で堀金村でも研修会があったと思いますので、また今後、研修会をやるようでしたら日程等を調節して行ってもらえると嬉しいと思いますのでよろしくお願いします。

(清水議長) 塚平事務局次長。

(塚平事務局次長) 今ご指摘をいただいたところはごもっともでございます。日程の調整に関しましては、それぞれ構成する議会事務局の皆様と調整をさせた上で日程を立てておるところでございますが、どうしてもそういっただぶってしまうところが出てくるのが現状でございます。

引き続き構成市町村の議会事務局の皆様と日程調整を密にさせていただき、また議員の皆様にもご確認をさせていただく中で事業を実施していきたいと思っております。よろしく申し上げます。

(清水議長) ほかにご質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

(清水議長) なければ、説明ございました広域連合議会新人議員等研修会については、聞き置くことといたします。

---

## (8) 南信州地域戦略会議(5/15)について

(清水議長) 次に、南信州地域戦略会議についてを議題といたします。

事務局の説明を求めます。

高田事務局長。

(高田事務局長) それでは、資料ナンバー8をご覧くださいと思います。

5月15日の日に県の主催によります〔拡大版〕南信州地域戦略会議が開催をされております。拡大版といいますのは、知事が直接出向いてこの場に出席をされているということで拡大版になっておるわけではありますが、そのときの資料を抜粋をして今日、用意をさせていただいています。

今回のこの南信州地域戦略会議につきましては、この次第にもありますように次期の総合5か年計画、長野県の次の総合5か年計画の策定に向けての意見交換会ということが趣旨でございました。

で、この次第の下の方に配布資料というのがありまして、その資料1～4までを今日付けてございますので見ていただきたいというふうに思っています。

2枚目に出席者のリストがありまして、2枚めくっていただきまして、次期総合5か年計画の策定についてという県の企画振興部の資料がございます。

で、県の計画の位置づけというところがございますように、新しい5か年計画をつくっていくわけでありまして、アンダーラインにありますように、これまで以上に地域重視の観点を明確化するというので、今までの5か年計画の中にも地域編というのがございましたけれども、より地域の皆さんと対話を深めてそれぞれの地域のことをしっかりとまとめるというようなことがございまして、その下の3の多様な意見の反映というところにもアンダーラインがあるところもありますけど、地域の課題や方向性について地域戦略会議で議論するほか、地域振興局ごとに対話や意見聴取を実施をすると

いうことをごさいますて、この5月15日の地域戦略会議だけではなくて、この後、地域振興局から幾つかのタウンミーティングのような形での意見聴取の場が持たれるということをごさいますので、そうした場にもご出席をいただければというふうに思っています。

で、その次のペーパーが県の総合計画審議会委員の名簿、それから資料ナンバー2と付いておりますのが、次期総合5か年計画の構成イメージということで、特に地域経営方針及び地域重点政策というものをしっかりと位置づけていくということをごさいますて、この部分を地域振興局のほうで受け持って、それぞれの地域と相談をしていくというそういうことをごさいました。

で、その次のペーパーで審議会が出た意見というのが示されています。

で、最後にA3で折り込んである資料がございしますが、これは南信州地域振興局として、今この南信州地域の現状と、それからどういう方向を目指していけばいいかということをつたき台としてつくったということをごさいますて、これ今後、各地域で地域振興局のほうが出向いて、これからを含めてこの南信州地域の地域版をどうつくっていくかということの相談をしていくということをごさいますて、これから話があるようございしますので、私どももここに積極的に関わってまいりたいというふうに思っておりますのでよろしくお願いをいたします。

以上でございます。

(清水議長) 説明が終わりました。

ご質疑はございせんか。

よろしいですか。

(発言者なし)

(清水議長) なければ、説明がございました南信州地域戦略会議については、聞き置くことといたします。

---

## (9) 県議会現地調査について

(清水議長) 次に、県議会現地調査についてを議題といたします。

事務局の説明を求めます。

塚平事務局次長。

(塚平事務局次長) それでは、5月24日に開催をされました長野県議会環境産業観光委員会の現地調査につきまして報告申し上げます。

資料ナンバーの9をご覧をいただきたいと思います。

本日お配りをいたしました資料についてとなります。これは当日お願いをいたしました陳情書でございますが、若干内容をご説明申し上げます。

当日は、長野県議会環境産業観光議員ということで中川委員長をはじめ、当圏域の選出議員であります吉川彰一議員ほか、全員で10名の議員の皆様がこちらにお出でになられ、牧野連合長、松島副連合長、深津松川町長、熊谷阿智村長、それぞれがご出席をいただき、広域連合として陳情を申し上げたところでございます。

陳情の内容でございますけれども、全部で7件ございました。

1点目、中央新幹線工事に伴う環境への影響について。

2点目、旧飯田工業高校施設を活用した産業振興と人材育成の拠点について。

3点目、リニアを活かす地域づくりの促進について、これは伊那谷自治体会議との連携をとということでございます。

4点目、山岳観光振興について。

5点目、広域観光について。

6点目、南信州地域のリンゴ、これは果樹全般を含んでおるものでございますが、ワイン及びシードルによる果樹栽培の生産振興と戦略的プロモーションについて。

7点目、簡易水道等施設整備費国庫補助金の確保について。

ということで、それぞれ陳情を申し上げたところでございます。

内容につきましてはご覧をいただいたとおりでございますが、委員の方々からは、このリニアの関係につきましては先ほど来話が出ております、本日、知事とJRの柘植社長との懇談が行われるということから、本日のこのときに陳情いたしました内容について、「知事としっかり詰めているのかどうか」という確認がございまして、「これまで説明いたしましたとおり当地域と知事との懇談等複数回開いている中で確認済みである」という回答をさせていただいたところでございます。

また、さまざまなリニアに関係する構想について、「しっかり内容を絞った上で知事に強く要望をやっていっていただきたい」、「議会としても協力を惜しまない」という声もいただいております。

また、「歴史・文化・物語性等、戦略性のある誘客を行う必要がある」ということで、観光についてのご意見もいただきました。

また、「さまざまリニアバレー構想等踏まえる中で、より具体的な構想をつくっていただきたい」というようなご意見もいただいております。

また、観光それからさまざまな観光のプロモーション等にもご意見をいただいたところでございます。

こういった形で陳情を行わさせていただいておりますので、それぞれご確認をいただきたいと思います。

以上でございます。

(清水議長) 説明が終わりました。

ご質疑はございませんか。

(発言者なし)

(清水議長) なければ、説明のございました県議会現地調査については、聞き置くこといたします。

---

## (10) その他

(清水議長) 次に、その他についてを議題といたします。

事務局の説明を求めます。

塚平事務局次長。

(塚平事務局次長) それでは、その他の報告についてご説明を申し上げます。

資料ナンバーの10をご覧いただきたいと思います。

要望書が付いてございますけれども、これにつきましては平成29年第1回定例会において陳情、さらには全員協議会において皆様にご相談申し上げました、リニア時代を見据えた飯田下伊那地域の振興に関する要望書についてと、それから(仮称)南信運輸免許センターの開設に関する要望書でございまして、3月13日の日に知事及び長野県警察本部の尾崎本部長あてに要望書を提出をいたしました報告書でございます。

当日の状況を少し説明を申し上げます。

まず、知事の要望についてでございますけれども、リニア時代を見据えたコンベンションセンターと県的屋内体育施設の整備に関し、当地域と一緒に必要な検討を行っていただきたいということ。

それから、障害者支援施設「阿南学園」の改築に関し、県の財政支援をお願いするとともに、国に対しても優先的に財政支援を要望してくださいという要望をしたところでございます。

知事からは、「リニア中央新幹線開通後の地域づくりにつきましては、未来を共有することと思っており、県も同様に考えているところである。県としては、現在道路整備を

積極的に推進をしていくところではあるが、具体的な計画については、地域の主体的な取り組みが必要で、ぜひ地域で経済界等も一緒に知恵を出しながら考えていただきたい。県としても一体となって検討をしていきたい。」というご回答をいただいております。

また、阿南学園については、既に知事も視察をし「入所者・ご家族の思いも承知をしているところである。国への要望をしているところであるが、具体的にどう要請するか今一度踏み込んで検討を進めていきたい。」とのご回答をいただきました。

続きまして、県警本部に要望をいたしました要望書の関係でございます。

広域財団法人南信州飯田産業センターが旧飯田工業高校施設に移転した後、運転免許証の即日交付を行うために早期に（仮称）南信運転免許センターを広域財団法人南信州飯田産業センター後施設に開設をしていただきたいという要望をしたところでございます。

当日は、県警の山口交通部長、田原運転免許本部長が回答をしていただきました。この中で山口部長からは、「免許証の交付についての不便は重々承知をしている。要望書をいただき、今後さらに深く検討をしてみたい。また、必要性については理解をしているつもりである。まあ、ただ、人的配置等の課題も抱えていることから、内部でプロジェクトチームをつくって検討をしている。」という回答をいただいております。

年度が変わりまして新年度になりまして、下伊那地方事務所が南信州地域振興局に移行をしたということで、地域振興局との中で情報交換をする中でお互いに情報を持ち寄って、さまざまな具体的な検討を行っていくということで既に検討を始めております。

今後、この内容につきまして検討の事実がまた明らかにできる部分が出てまいりましたら、議会の皆様にも都度、明らかにしてみたいというふうに考えておりますのでご承知置きをいただきたいと思います。

とりあえず報告とさせていただきます。

以上でございます。

（清水議長） 説明が終わりました。

ご質疑はございませんか。なければ、説明のございます。

栗生勝由議員。

（栗生議員） 15番・阿南町の栗生であります。

私どもの障害者施設「阿南学園」であります。今現在、建っているところがレッドゾーンというようなことで、近々の対応が必要というようなことで議会も県のほうへお願いをしてきた経緯があります。

県の予算が2億5,000万、我々の要望する金額も2億5,000万ということで遅々として進んでないと、先般も要望に参りましたがけんもほろろの対応というようなことで、ぜひ広域連合でも力を入れてもらって要望活動をしていただきたいと思います。

そんな中で非常に遺憾に思ったのは、「3分の1程度の規模を縮小しろ」と、「あとは預かっている地元へ返せ」というような非常に何とも憤りを感じたような回答でありましたので、うちの町長も就任当初から念願な事業でありますので、ぜひ実現できるようにお願いをしておきたいと思います。

よろしく願いいたします。

(清水議長) 関連。

(牧野広域連合長) 広域連合といたしましても、そういったさまざまな課題があるということ非常に重く受けとめておりまして、阿南町の勝野町長さんとも一緒になってですね、そうした対応につきましてしっかりとこの具体的な要望活動、そして私たちの目指すところを明らかにしてやっていきたいというふうに考えているところでございます。

(清水議長) ほかにございませんか。

(発言者なし)

(清水議長) なければ、説明がございましたその他については、聞き置くことといたします。

---

## (11) 当面の日程

(清水議長) 次に、当面の日程についてを議題といたします。

事務局の説明を求めます。

塚平事務局次長。

(塚平事務局次長) それでは、本日の全員協議会の次第及び本日お配りをいたしました南信州広域連合議会日程、両方をご覧をいただきたいと思います。

まず、広域連合議会の日程につきましては、本日、第1回臨時会から30年第1回定例会までの日程を既に決定をしております、ここに記載をしてございますのでご予定のほどよろしく願いをいたします。

また議員研修、それから検討委員会の候補日ということでそれぞれ記載をさせていただきますのでご確認をいただきたいと思います。

本日の次第のほうにお戻りいただきまして、当面の日程でございます。先ほど説明がございました、8月9日の日の稲葉クリーンセンターの火入れ式でございますけれども、

こちらにつきましては広域連合議会の正副議長、それから環境・福祉・医療検討委員会の委員長様にご出席をいただく予定としております。

また、8月18・21・22と3日、日程を予定しておりますが、この日程の中でそれぞれ各検討委員会を設定をしたいと思っております。ただ、この3日の中のどこで行うかというのは委員長さん、さらにはそれぞれ所属をいたします委員の皆様には調整をかせせていただいて最終決定をさせていただきたいと考えております。

これを受けまして、8月31日に南信州広域連合の議会の全員協議会を開催する予定としております。ご承知置きいただきたいと思います。

以上であります。

(清水議長) 説明が終わりました。

ご質疑はございませんか。

(「なし」の声あり)

(清水議長) なければ、説明のございました当面の日程については、聞き置くことといたします。

以上ですが、理事者側何かありますか。

## 5. 閉 会

---

(清水議長) ないようでございますので、以上をもちまして全員協議会を閉会といたします。  
長時間ご苦勞様でした。

---

閉 会 午前11時58分